

## 指定管理者モニタリングレポート（平成30年度）

作成日 令和元年 6月25日

施 設 名	太田宿中山道会館	
所 在 地	美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31	
指 定 管 理 者	名 称 特定非営利活動法人宿木 代表者 理事長 佐光 重廣 住 所 美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31	
指定期間・選定方法	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	任意指定
モニタリングの実施方法等	期初・中間・期末各モニタリングについて、太田宿中山道会館において理事長、理事及び事務局長と面談の上実施	
担 当 課 (問合せ先)	産業振興課（営業戦略係 内線257）	

### モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

一部事業の統廃合を行ったもののほぼ例年通りの規模の事業を実施してきたが、来館者数は前年から一万人程度減少する結果となった。減少理由については、4月にぎふ清流里山公園やリバーポートパーク美濃加茂が開園して利用者がそちらに流れたことや、7月の断水及び40℃を超える猛暑、2月にヒレンジャクの飛来がなかったことなど外的要因が中心であり、会館運営そのものは工夫を交えながら適切にされていた。しかし一方では、イベントや展示内容のマンネリ化が顕著であることで、新しい施設に利用者が流れたとも推察される。指定管理者として更新を受けた今後の指定期間の運営においては、新たな施設との連携を強化するなどして、多様な利用者層を獲得するための企画等を期待したい。

### 経営分析に関すること

一般会計の事業収支は約 186 万円と、この5年で初めて 200 万円を割り込んだものの、主な要因は繰越金の減少であり、単年度収支に関してはマイナスであるものの昨年度より大きく改善されていることから、収入に応じた堅実な支出により運営されていることが伺える結果となった。一方で一般会計の支出に占める人件費比率は、最低賃金上昇などの影響を受けて年々上昇していることが懸念材料となっている。また、収益事業会計からの繰入金によって財政の安定化を図っているが、こちらの会計においても来館者数の減少や人件費の上昇によって飲食部門で収益の減少があり、好調な物産販売によって会計全体を支えている傾向がみられる。今後は、飲食部門について人件費の上昇及び消費税の増税等を適正に価格へ転嫁し、安定的な収益の確保を図ることが必要と思われる。

### 事業計画・実施事業に関すること

事業全体が定例化していた中で、7月に実施していた宵まつりを廃止して8月に開催する盆踊り大会を一日増やすなど、「選択と集中」による事業の効率化を進めつつ、来館者の確保を目指している。しかし、年6回実施している郷土料理の提供については、人気の企画でありながら数量が限られることや窓口の繁忙化を避ける目的でHP等での周知を行っていないなど、集客推進に対して一部消極的な運営がみられた。公平性の確保及び利用促進の観点から、実施事業に関する情報発信は適切に行われたい。

### 経理に関すること

日報により毎日の売上等の管理がされていて、口座も会計別・目的別に設けられているため、金銭の動きが明確で現金の管理も含めて適切に実施されている。記帳も毎月会計事務所に送付してチェックを受けるなど適正な会計処理が行われている。

### 施設管理に関すること

保守点検、消防防火訓練、定期清掃等について遺漏なく実施されており、外部トイレも含めた日常的な清掃業務も適切に行われていた。備品については、基本協定に示す区分別管理と保管場所について一部不明瞭なものがあつた。また、過去に指定管理者の負担で購入した展示用物品が倉庫内に保管されたままとなっているとのことなので、再活用によって企画展示の充実は可能と思われる。駐車場内での誤発進事故発生時には、市への報告や被害を受けた近隣住民への対応など迅速かつ適切な対応がなされていた。

### サービスに関すること

イベントや団体旅行客に合わせた開館延長を実施するなど、顧客ニーズに合わせた弾力的な運営がなされている。飲食部門においては、豚コレラの影響で蜂屋豚の入荷が終了した際に他の県産豚に振り替えてメニューを維持したり、繁忙時には水のセルフサービスを導入したりするなどサービス低下にならないように工夫する取り組みも見受けられた。物販においては、野菜の委託販売が好調とのことだが、赤塚製菓の廃業によって市産品の取り扱いが減少しているため新商品の開拓を期待したい。セルフモニタリングは、食堂でのアンケート実施によって行われているが、指定管理者更新時に評価委員会から提案のあつたスポット調査も導入を検討されたい。

### その他に関すること

ホームページのレイアウトやイメージが古いこと、Web 利用端末の多様化等によりホームページの機能強化が必要なことから、新年度の指定管理料にはその更新費用が盛り込まれている。利用者増加には内容、手法ともに積極的かつ適切な情報発信が重要となるため、速やかに刷新することを依頼した。また、職員の高齢化が顕著であることから、更新を受けた今後の5年間の安定的な運営に向けた必要な人員の確保が重要となる。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成30年度)

総合評価	B
------	---

実施日 令和元年 6 月 25 日  
担当課 産業振興課

対象施設	太田宿中山道会館	選定方法	公募(任意指定)
設置目的	観光情報等の発信と地域交流推進の拠点		
指定管理者名	特定非営利活動法人宿木	指定期間	平成 26 年度～平成 30 年度

総括	B	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	評価
経営分析	事業収支	2,852,821	3,724,233	2,480,215	2,014,966	1,859,495	B
	利用料金比率	-----	-----	-----	-----	-----	
	人件費比率	43.47%	43.01%	45.42%	45.66%	47.27%	B
	外部委託費比率	12.02%	11.70%	11.87%	11.97%	12.35%	B
	利用者当たりの管理コスト	156	167	158	171	186	B
	利用者当たりの市負担コスト	130	135	128	136	152	B
	施設㎡当たりの利用者数	170	164	172	162	145	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			A	計画した事業に加えて、福島県富岡町の夜ノ森桜記念植樹やベンチの設置など積極的な事業実施がみられる。
2 収支計画との整合性はあったか			B	収入において使用料収入の予算割れがみえるものの、支出は大科目の範囲内で実施事業に応じて行われている。
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	臨時休館は1日のみであり、条例に基づく開館及び休館時の届出がなされている。
4 施設職員体制が適正に整えられていたか			B	運営に必要な人員を確保している。
5 公共性・公平性が保たれていたか			B	
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	ヒレンジャクが来なかったため昨年度指摘のような事案の発生はなかったが、発生時の対応について準備はされていた
7 自主事業は適正に実施されていたか			B	宵まつりの廃止に伴い盆踊りを一日増加するなど、効率化と賑わい創出のバランスを取りながらの運営がなされていた

経理に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	前年どおり会計別の口座で管理
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	協定や計画に基づく適正な支出を行っている。
3 支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	勘定元帳、日報等を確認
4 帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	事務局内で適正な記載管理を行っている。
5 現金は適正に管理されていたか			B	金庫で保管し、暗証番号は正職員2名のみで管理

施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	保守点検の実施を確認
2	清掃は確実に行われたか			B	日常的な清掃に加え、委託による定期清掃を年2回実施
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	正職員2名のみで管理
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	緊急連絡網を確認
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	経路を物品等で妨げることはなく、市が導入した利用者用ヘルメットも適切に配置されている。
6	備品は適切に管理されていたか			C	備品確認において取扱い区分や保管場所が不明瞭なものが一部見受けられた。
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	誤発進事故発生に伴う再発防止策の要望など迅速かつ適切な対応がみられた。

サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			A	ツアー等利用者ニーズに対応した休館日の臨時開館や開館時間延長などを効果的に実施している。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	食堂における軽微な苦情以外は寄せられておらず、職員に周知が必要な事項は適宜共有されている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	新たな情報は適時掲載されているが、不要となった古い情報を消すことができていない。HP更新において対応。
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			B	例年どおり食堂内でアンケートの実施が確認された。回答数も徐々に増加している。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	アンケートの意見を集約して職員向けに貼りだし、周知することでサービス向上に努めている。
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	

その他に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	職員の個人番号(写し)は金庫で保管している。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	5基のコンポスト設置により、食堂からの生ごみの排出をゼロとしている。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	各種保険加入を確認
5	地域との協働は図られたか			A	中山道界隈の市民団体や御代桜、姫biz等と連携した事業が実施されている。
6	市と連絡を密にしていたか			A	行事の広報掲載、修繕の発生報告等、綿密な連絡や調整が実施されている。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

令和元年6月25日

指定管理者名	特定非営利活動法人宿木	所管課	産業振興課
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	選定方法	任意指定
施設名	太田宿中山道会館	施設の種類	観光施設
所在地	美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31		
設置根拠条例等	太田宿中山道会館の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	観光情報等の発信と地域交流推進の拠点		
実施事業	太田宿中山道会館の運営		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	3,745.76 ㎡			駐車場 台数	20 台		
	内借地面積	㎡	契約期 間			借地料		
建物	設置形態	市所有	契約期 間			賃借料		
	建物の内容	事務室・物産販売・飲食コーナー・展示室・市民活動スペース等						
	主要な建物の 建築年月	平成 18 年 3 月			取得時 期			
	延床面積	865.98 ㎡		構造	木造		階数	2
	耐震基準	新基準	耐震診 断	不要	耐震補 強	不要	Is値	
	バリアフリー 化状況	実施	エレベ ーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい 者用トイレ	その他
			無	無	有	無	有	
	大規模修繕 実施状況							
留意事項								

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	306日	休館日	月曜・年末年始	開館時間	9:00～17:00
職員数等 管理体制	常勤2名 非常勤16名(うち厨房職員13名)				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

市の収支状況	(単位:千円)		30 年度	29 年度	28 年度	27 年度	指定管理導入前
	支出	支出総額	15433	15,416	16,591	14,648	
		人件費	1,575	1,575	1,575	1,575	
		維持補修費	255	247	1,964	73	
		減価償却費					
		光熱水費					
		委託費・指定管理料	13,000	13,000	13,000	13,000	
		賃借料					
		その他	603	594	52		
	収入	収入合計	0	0	0	0	
		使用料・手数料					
		その他業務収益					
業務関連収益							

指定管理者の収支状況	(単位:千円)		30 年度	29 年度	28 年度	27 年度	26 年度
	支出	支出合計	15,845	16,340	16,010	16,104	15,664
		人件費	7,489	7,461	7,271	6,923	6,805
		事業費	1,485	1,746	1,706	2,433	1,850
		維持補修費	95	181	174	105	290
		光熱水費	2,217	2,333	2,218	2,296	2,631
		保守点検費	2,554	2,519	2,612	2,567	2,610
		その他	2,005	2,100	2,029	1,780	1,478
	収入	収入合計	17,705	18,355	18,490	19,828	18,517
		指定管理料	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		利用料金	206	267	343	286	313
		自主事業収入	302	394	276	614	519
		その他	4,197	4,694	4,871	5,928	4,685

#### 5. 施設の利用状況

		30 年度		29 年度		28 年度		27 年度		指定管理導入前	
開館日数		307 日		306 日		307 日		308 日			
利用件数											
利用者数		85,359 人		95,521 人		101,388 人		96,227 人			
定員											
部 屋 別 稼 働 率	名称					平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%		夜間	%		計	%	
	名称					平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%		夜間	%		計	%	
	名称					平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%		夜間	%		計	%	

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	第 13 回春のまつり	利用者数等	約 1,500 人
	事業内容	平成 30 年 5 月 13 日開催 ステージイベント 7 種・体験コーナー 7 種・出店 9 店舗 14 ブース		
	事業名	中山道太田宿盆おどり大会	利用者数等	3,197 人
	事業内容	平成 30 年 8 月 24 日、25 日、26 日開催 イベント 6 種・こども広場運営・出店 11 店舗 18 ブース		
	事業名	太田宿中山道まつり	利用者数等	約 20,000 人
	事業内容	平成 30 年 10 月 21 日開催 楽市楽座		
	事業名	酒蔵開放連携イベント	利用者数等	約 1,800 人
	事業内容	平成 31 年 3 月 23 日、24 日開催 楽市楽座各日 5 店舗 24 日顔が見えるものづくりフェア 16 店舗		
	事業名	展示イベント(計 6 回)	利用者数等	2,284 人
	事業内容	円空彫り展、秋の盆栽展、盆梅展等		
	事業名	お茶の間ゼミナール(計 6 回)	利用者数等	141 人
	事業内容	「気がつけば岐阜弁」「潜伏キリシタンの研究」「はるの落語会」等		
特記事項		その他イベント 3 回、体験教室 3 回、各種展示 25 回開催		

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	
コスト面	
利用者数・稼働率	
事業実施状況	
地域との協働等	
その他	